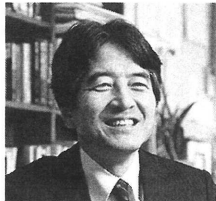


お尋ねした専門医の先生は



熊本大学大学院生命科学研究部  
産婦人科学講座 教授

## 片瀧 秀隆先生

日本産科婦人科学会産婦人科専門医  
日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医  
日本臨床分子形態学会 理事長  
日本婦人科腫瘍学会 副理事長  
日本婦人科がん検診学会 副理事長  
JSAWI 代表

# 人生100年のターニングポイント

女性の40代～50代は、仕事では中堅以上で責任が大きくなり、家庭では子どもの思春期や親の介護が始まる時期です。女性の心身の健康を支えてきた卵巣の機能が低下し、悩ましい症状が出てくる時期と重なります。月経の状態が変わってきた、疲れやすい、集中力が低下した、仕事のミスが多くなった、家事がはかどらない、眠れない、そしてほてりや発汗、動悸、関節痛、頻尿、尿漏れ、めまいなど、気になることはありませんか？

日本人女性の閉経は平均51歳、更年期はこの歳をはさんだ前後10年です。体力が低下し、生活習慣病が急激に増えるのもこの時期です。このような症状と生活上の

様々な問題などについてお話を聴き、必要に応じて検査や他科の受診、さらに治療へと進むのが更年期外来です。更年期の症状については、カウンセリング、漢方薬、ホルモン治療、抗うつ薬など様々な方法があります。

ワークにもライフにも一所懸命であればあるほど悩みは大きく、他に頼ることの難しい状況では、さらに自分を追い詰めてしまいます。人生100年の折り返し地点でもあるこの時期、一度ご自分の心身をチェックし、今後の50年を健康に自分らしく生きる出発点にしましょう。